第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画（案）への意見について（結果）

１　意見募集期間　　令和２年２月 12 日（水）～令和２年３月 12 日（木）
２　意見提出状況　　１通　２件
３　意見内容　　下記のとおり

項目、掲載頁等	ご意見
・第６章　計画推進に向けて ・２６ページ「磐田市の課題」 ①、③について	不動産の視点からの意見を申し上げます。 ・少子化・人口減少が進む中で、他所から移住してもらうことは、地方の自治体共通の悩みです。同計画の中には子育ての主体である「親」に対しての支援も多く盛り込まれています。 ・そこで、それらを「親を育てる磐田市」として、市の移住促進策と絡めて、「安心して住め、子育てもできる」、パッケージ化したプロモーションを提案します。 ・移住先で本当にやっていけるか不安に思うのは、子供ではなく親です。特にひとり親家庭であればなおさらです。その不安を押し切ってまで、親に移住を決断させるためには、「親を育てる支援が、磐田市にはある！」ということをアピールするのが、心にささるのではないでしょうか。
６４ページ ⑦ファミリーサポートセンター事業 ・６５ページ ⑧－２　一時預かり事業（幼稚園型を除く）	○上記「親育て」、特にひとり親家庭、移住対策と関連して、親と空き家（不動産）を結びつける。 ・ファミリーサポートセンター事業等に空き家を活用してはどうでしょうか？空き家の活用方法がなく、困っている状況があります（この事業には賛成だけど、自宅を提供するのはイヤ…という人もいると思います。） ・移住希望者の不安の一つに【地域コミュニティになじめるか】があると思いますが、この使い方をすれば、不動産が地域コミュニティにマッチした状態で販売できるため、移住希望者に向けた「セールスポイント」になりますし、将来の人口減少対策、空き家対策にもなると思います。 ・また、このような事業を行う民間団体の支援、育成も打ち出すと、なおよいと思います。